

総合資格東京本部 盛大に合格祝賀会

一級建築士占有率1位

総合資格学院を運営する総合資格(岸隆司社長)は9日、東京都新宿区のハイアットリージェンシー東京で、約800人が出席して東京本部の2011年度合格祝賀会を開いた。写真。東京都の一級建築士合格者1027人のうち560人が同学院受講生となり、9年連続で合格者占有率1位を占めた。

岸社長・学院長は、合格者に対して「ともに勝ち抜いた仲間との交流を生かし、それぞれの分野で活躍されることを期待している」とエールを送るとともに、「12年度一級建築士試験では、開講都道府県の合格者占有率7割を目標



に指導体制を強化する」と意気込みを述べた。

来賓の建築家・伊東豊雄氏は「何万年というスケールで人がどう生きてきたのかに目を向け、建築を考えてほしい。日本は大きな志を持って建築、都市を考える時期に来ている。若い力で実現してほしい」と合格者に期待を寄せた。

また、三井所清典東京建築士会会長は、東日本大震災では地域の人たち、さまざまな分野とのゆるやかな連携が必要とした上で、「新しい時代の建築士のあり方を考えてほしい」と祝辞を述べた。

一級建築士試験に合格した吉祥寺校の後藤洋平さんは「仕事をしながらの勉強はつらかったが、1年間続けられたことは大きな自信になった。講師の皆さんにはとても分かりやすく教えていただいた。多くの人たちに支えられて合格できた」と喜びを語った。

同学院が教室を開講している36都道府県では一級建築士の合格者4369人中、同学院の受講者は2259人で、過半数を超えた。全国でもほぼ50%となっている。